

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

## 3. 調査の対象

泉佐野市立日新小学校 第6学年、全児童  
実施児童数（ 97 人）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少ない。  
平均正答率（本校 69.6／泉佐野市 70.3／大阪府 70.7／全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にある  
平均正答率（本校 55.4／泉佐野市 51.9／大阪府 52.6／全国 55.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○「話す・聞く」や「読む」ことに関する問題については国の正答率を上回った。</p> <p>7 話し合いの仕方として適切なものを選択する (78.4/72.4)</p> <p>【伝統的な言語文化と交互の特質に関する事項】</p> <p>○漢字の読み方については概ねできている</p> <p>1一(1) 道路の標識 (90.7/91.7)</p> <p>1一(2) 街灯がつく (83.5/87.0)</p> <p>○漢字の書き取り問題については正答率が高い。</p> <p>1二(1) 料理をのせた<u>さら</u>を運ぶ (95.9/97.8)</p> <p>1二(2) 勝利を<u>いわ</u>う (72.2/59.3)</p>	<p>○故事成語の使い方に課題がある。</p> <p>2一 故事成語の使い方として適切なものを選択する。(五十歩百歩) (25.8/55.8)</p> <p>2二 故事成語の使い方として適切なものを選択する。(百聞は一見にしかず) (43.3/49.9)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○複数の事柄を並列の関係で書くことについては課題がある。</p> <p>6一 「～たり…たり」という表現に直して書く (68.0/74.9)</p> <p>○仮定の表現として適切なものを選択することについては課題がある。</p> <p>6二 文の意味の繋がりをとらえ適切なものを選択する (76.3/83.1)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○目的に応じて話し合いの観点を整理することについて課題がある。</p> <p>1一 司会の発言の内容をまとめて書く (58.8/65.2)</p> <p>○質問の意図をとらえる問題は国の正答率を上回った。</p> <p>1二 質問のねらいとして適切なものを選択する (63.9/60.2)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○立場を明確にして質問や意見を述べることや、わかったことや疑問に思ったことを整理し、関係付けながら書くことに課題がある。</p> <p>1三 発言に対して手書きの立場から質問や意見を書く (24.7/38.3)</p> <p>2二 付箋の内容を関係づけてまとめを書く (23.7/26.9)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○内容を関係づけながら、最初の疑問をとらえる問題については国の正答率を上回った。</p> <p>2一 付箋の内容を関係づけて疑問を書く (74.2/71.9)</p> <p>○二つの詩を比べて読み、自分の考えを書くことについては国の正答率を上回った。</p> <p>3三 (詩1) (詩2)を比べて読んで考えたことを書く (51.5/48.1)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○二つの詩を比べて読み、表現の工夫をとらえることは概ね出来ている。</p> <p>3一 (1) 詩1の表現の特徴として適切なものを選択する (81.4/80.4)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	68.0	59.2	◇	8.8
国語の勉強は大切だと思いますか	91.8	91.8		0
国語の授業の内容はよくわかりますか	86.6	80.1	◇	6.5
読書は好きですか	75.2	73.0		2.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.6	87.4		0.8
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	47.5	61.4	○	13.9
国語の授業で意見などを発表するとき、上手く伝わるように話の組立を工夫していますか	51.6	58.5	◇	6.9
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気をつけて書いていますか	74.2	70.7		3.5
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	79.4	75.8		3.6
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか（「最後まで解答を書こうと努力した」の割合）	71.1	76.1	◇	5.0

○「国語の勉強は好きですか」「国語の勉強は大切ですか」「国語の授業の内容はよくわかりますか」の設問について、全国に比べても肯定的な意見の割合が高く、また、昨年度と比較しても、高くなっている。

「国語の勉強は好きですか」(H25 53.5)

「国語の勉強は大切ですか」(H25 87.2)

「国語の授業の内容はよくわかりますか」(H25 75.6)

○「読書は好きですか」の設問に対して、肯定的な児童の割合が全国を上回っており、昨年度に比べても高い数値となっている。(H25 65.1)

○「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」「国語の授業で意見などを発表するとき、上手く伝わるように話の組立を工夫していますか」の設問については昨年度より数値が改善しているものの、全国と比べると低いことは課題である。

「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」(H25 46.5)

「国語の授業で意見などを発表するとき、上手く伝わるように話の組立を工夫していますか」(H25 45.3)

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 74.2／泉佐野市 75.9／大阪府 77.3／全国 78.1）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国に比べると上位層が少なく、中位層がやや広く分布している。

平均正答率（本校 54.9／泉佐野市 55.6／大阪府 56.3／全国 58.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○繰り上がりのある加法の計算をすることは概ねできている。 1 (1) <math>46 + 57</math> を計算する。 (96.9/96.9)</p> <p>○被乗数に空位のある整数の乗法について概ね出来ている。 1 (2) <math>903 \times 6</math> を計算する (96.9/92.8)</p> <p>○小数第1位までの減法の計算は概ねできている。 1 (3) <math>9 - 0.8</math> を計算する (89.7/83.8)</p> <p>○減法と乗法の混合した整数の計算は国の正答率を上回った。 1 (5) <math>100 - 20 \times 4</math> の計算 (84.5/80.9)</p> <p>○異分母の分数の加法の計算は概ねできている。 1 (6) <math>1/3 + 2/5</math> の計算 (89.7/90.6)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○割合が1より小さい場合でも比較量の求め方が、基準量×割合になることの理解に課題がある。 2 (2) 示された図を基に青いテープの長さが白いテープの0.4倍にあたる時の青いテープの長さを求める式を選ぶ (46.4/56.1)</p>	<p>○二つの数量の関係について、単位量あたりの大きさを調べる場面と図を関連付けるのに課題がある。 4 (1) <math>8 \text{ m}^2</math> に16人いる部屋の様子を表している図を選ぶ (75.3/82.3)</p> <p>【図形】</p> <p>○円周の長さを直径を用いて求めることに課題がある。 5 (1) 直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く (67.0/83.9)</p> <p>○体積の単位と測定についての理解に課題がある。 5 (2) <math>1 \text{ cm}^3</math> の立方体を基に示された直方体の体積を求める (66.0/81.1)</p> <p>○作図に用いられる図形の約束や性質の理解に課題がある。 5 (3) コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ (47.4/52.0)</p> <p>○立体図形と見取り図の辺や面のつながりや位置関係の理解について課題がある。 7 縦5cm横11cm高さ4cmの直方体の面になる四角形を選ぶ (55.7/69.4)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○示された場面から計算結果の見通しを持ち、2位数×3位数の筆算をすることは概ねできている。 1 (1) 示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ。 (93.8/94.6)</p> <p>○繰り返されるリズムの規則性を見出し、それを基に小節数を求めることは国の正答率を上回った。 4 (1) Aのリズムを3回目に演奏するのは何小節目か書く (64.9/62.2)</p> <p>○10人分の量を基に40人分の量を相対的に捉え関係を表す図を選択する問題に課題がある。 3 (2) 40人分のごはんを分けるとき10人分の目安を正しく表す図を全て選ぶ (46.4/56.7)</p> <p>○示された情報を解釈し基準量の1.5倍を表す図を選択する問題に課題がある。 5 (2) 使いやすい箸の長さの目安を基に一あた半の長さを表している図を選ぶ (43.3/46.1)</p>	<p>○示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することに課題がある。 5 (3) 妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く (27.8/33.0)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○最大値に着目して棒グラフを枠の中に表すことができない理由を記述することに課題がある。 2 (2) 学校の水の使用量の表を棒グラフに表すとき、枠に入らない月を選び理由を書く (57.7/69.1)</p> <p>○示された情報を基に条件に合う時間を求める問題に課題がある。 3 (3) 昨年の昼食時間を見直したとき、今年の準備時間を何分間にすればよいか書く (29.9/38.6)</p> <p>○示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述することに課題がある。 3 (3) 示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人に分けることができるかどうかを選び、わけを書く (27.8/30.6)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか。	62.9	66.1		3.2
算数の勉強は大切だと思いますか。	88.6	92.3		3.7
算数の授業の内容はよくわかりますか。	77.4	79.6		2.2
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか。	77.3	77.3		0
算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。	72.2	78.1	◇	5.9
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	63.9	66.3		2.4
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	88.6	89.0		0.4
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	76.2	79.4		3.2
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。	83.5	81.3		2.2
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか。	80.5	83.4		2.9
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。 (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	70.1	79.7	◇	9.6

○「算数の勉強は好きですか」「算数の勉強は大切ですか」「算数の授業の内容はよくわかりますか」の設問について、昨年度と比較して改善しているものの、全国と比べて低いことは課題である。

「算数の勉強は好きですか」(H25 59.3)

「算数の勉強は大切ですか」(H25 83.8)

「算数の授業の内容はよくわかりますか」(H25 70.9)

○「算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」の設問や、わけや求め方を書く問題で、「最後まで解答を書こうと努力した」割合が昨年度よりも低く、また、全国と比べても低いことは課題である。

「算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」(H25 74.4)

「最後まで解答を書こうと努力した」(H25 73.3)

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校 回答率 / 全国 回答率 >
【家庭生活の様子】	○家庭生活では朝食の摂取率や起床時間等、規則正しい生活習慣がおおよそ身につけている。家庭での過ごし方ではテレビやビデオの視聴、テレビゲームや携帯電話の操作に費やす時間が国に比べて多い。家庭で家の人と学校の出来事を話す児童が多い一方で、地域行事への参加率は低い。	○朝食を毎日食べていますか <98.0/96.0> ○毎日、同じくらいの時刻におきていますか <94.8/90.9> ○普段（月～金）1日どれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDをみますか 3時間以上 <43.3/38.0> ○普段（月～金）1日どれくらいの時間、テレビゲームをしますか 3時間以上 <20.6/17.0> ○普段（月～金）1日どれくらいの時間携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか 2時間以上 <12.4/8.7> ○家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか <86.6/80.4> ○今住んでいる地域の行事に参加していますか <45.4/68.0>
【家庭学習の様子】	○家庭学習については、2時間以上学習する児童の割合が国を上回っている一方、30分より少ない児童も多い。宿題はできているが、自主的な予習・復習ができていない。	○家で、学校の宿題をしていますか <98.0/96.5> ○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか <46.4/61.0> ○学校の授業以外に普段（月～金）、1日にどれくらいの時間勉強しますか。（学習塾や家庭教師も含む） 2時間以上 <30.9/25.8> 30分より少ない <15.5/12.7> ○家で、学校の授業の予習をしていますか <36.1/43.2> ○家で、学校の授業の復習をしていますか <44.3/54.0>
【学校での学習の様子】	○「総合的な学習の時間」については、課題解決や発表等の活動に取り組んでいる割合が国を下回っており、自分の考えを説明したり、書いたりすることを難しいと感じている児童が多い。	○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <38.1/63.8> ○5年生までに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよくやっていたと思いますか <62.9/77.3> ○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか <67.1/57.6>

## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

これまで本校では児童の学力実態を踏まえ、「自分の考えをもち伝え合うコミュニケーション能力の育成」を研究主題として、研究授業や公開授業等、職員の研修に取り組んできました。その結果として、平成26年度全国学力・学習状況調査において、「国語B」で全国平均正答率に近づく等（本校 55.4/全国 55.5）、一定の成果をあげることができました。

また、朝学習や家庭学習を通じて、漢字や四則計算などの基礎的な学力を身につけさせることに取り組んできました。特に算数のつまずきやすい単元では、3年生から6年生において、習熟度分割授業を展開するほか、放課後のまなびんぐサポート事業を活用して、3年生の希望者を対象に算数の補充授業を実施しています。

さらに、「自分にはよいところがある」と思っていない児童が多く、自尊感情や自己有用感が低い実態を考え、地域の福祉委員会と連携した「高齢者友愛訪問活動」や「花いっぱい運動」を推進し、敬老の気持ちや自然を愛する心、ボランティア精神を涵養するとともに、地域の方に喜んでもらうことを直に体験することで、自分は誰かの役に立っている大切な存在なのだという思いを持ってほしいと願っています。そのほかにも「良いところ見つけ」などの活動を通じて、自尊感情の高揚に努めています。

### ◎これからの取組み

本校では、平成26年度全国学力・学習状況調査の分析結果を基に、主に次に示すような点を中心に課題克服に向けて取り組んでいきたいと考えます。

#### ①授業改善に向けた取組みについて

授業改善については従来から取り組んでいるところですが、特に今回、児童質問用紙の「5年生までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」という設問に対する肯定的な回答が68.0（全国 82.0）と低い数値であったこと、また、「5年生までに受けた授業の最後に、学習の内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という設問に対する回答も肯定的な割合が60.8（全国 71.9）と、全国を大きく下回っていたことを踏まえ、授業のめあての提示や学習の振り返り活動を徹底し、授業改善を推進したいと考えます。めあての提示や振り返り活動を重視することで、指導者自身が、子どもたちに身につけさせたい力を意識した授業を行うとともに、児童にとっても「わかる喜び」が実感できる授業を目指します。

また、総合的な学習の時間の取り組みと平均正答率との相関関係が指摘されています。そこで、本校では、生活科や総合的な学習の時間を活用して、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する学習にも、これまで以上に取り組みを充実させていきます。

これまでも実践していた3～6年生の算数における習熟度別分割授業については今後も継続していくとともに、さらに、授業規律の徹底についても、研究部を中心に、全校統一ルールの再検討を進めているところです。

#### ②朝学習の時間等を活用した基礎・基本の徹底について

朝学習等を利用した基礎・基本の徹底については、漢字の読み書きや四則計算において、本年度の学力・学習状況調査で高い正答率を示す等、一定の成果をあげています。今後も大阪府教育委員会が作成した教材等も活用しながら、取り組みを推進し、朝学習等を通じて、児童の集中力のスイッチを入れていけるよう努めます。

#### ③家庭学習の推進について

本校の児童は宿題についてはよく取り組んでいるものの（97.0）、自分で計画を立てて勉強する力が弱く（46.4）、学校の授業の予習（36.1）や復習（44.3）をする児童の割合が全国に比べて低いことが明らかになりました。自学自習の力がしっかりと身につけているかどうか、児童が将来自らの進路を切り開いていく上で、大切な要素となることから、今後、家庭と連携しながら、家庭学習を推進し、主体的に学習に臨むことのできる児童の育成を目指します。そのための具体的な手立てについて研究を深め実践していきたいと考えます。

以上、「授業改善」「基礎・基本の徹底」「家庭学習の推進」という三つの柱を本校の学力向上に向けた方策の中心に据え、今後とも研鑽を重ねてまいります。